



# 学校通信

令和5年度 第7号  
令和5年 11月 1日  
練馬区立開進第三小学校  
校長 岡部 良美



## うれしいお手紙、励みになります

校長 岡部 良美



『子供一人ひとりが誇りと自信をもち、自分事で活躍できる学校を子供の姿で発信する』。これが今年度、保護者や地域の皆様にお約束した本校教育の取組目標です。

10月28日(土)は、子供たちが決めたルーブリックであるスローガンのもと今年度の運動会を開催いたしました。赤組団長と白組団長による「ぼくたち赤組、私たち白組は、“赤く燃え、白く輝け、91(悔い)のない笑顔を見せよう”というスローガンにのっとり、たとえ失敗しようとも、くじけず立ち上がり、正々堂々と戦って、お互いを高め合う運動会にすることを誓います。」というチャレンジ精神あふれる、一体感のある運動会を目指す選手宣誓は、はつらつとしていて感動するものでした。子供たちや教員だけでなく、ご参観の保護者や地域の皆様も共に世界一の運動会を創る気持ちになりました。子供たちが日頃から身に付けてきた能力や自信、互いのよさを認め励まし合う、笑顔あふれる運動会になりました。

10月31日(火)の全校朝会では、世界一と胸を張れる運動会になったこと、6年生の鼓笛行進は今までで一番よかったこと、開三小の子供たちのすばらしさを伝えることができたことを子供たちと共有しました。さらにそのあと、運動会前の10月19日付けで校長宛にいただいたお手紙を子供たちに読み伝えました。

私は桜台2丁目に住む者です。昨日(10月18日)、とてもうれしい思いをしましたので筆を執りました。今週私は近所のごみ当番にあたっていて、昨日は可燃ごみの収集日でした。午後1時半頃、収集車が来たかどうか確かめに家を出ましたところ、収集場所の防虫ネットのすき間から、カラスか猫が引き出したかと思われるかなりの量の家庭ごみが道路の中央付近まで散乱していました。清掃用具を取ってきて、不愉快な思いで散らかったごみを片付けていたところ、ちょうど下校時間で児童がたくさん帰って来るときでしたが、3、4年生くらいでしょうか、男の子と女の子が立ち止まって当たり前のことのようにごみを拾って、私の持っていたちり取りやごみ袋に入れてくれたのです。思いがけない展開でしたので驚き、そして胸が熱くなってきました。しばらくの間拾ってくれていたのですが、カラスや猫が突ついた台所のごみなどもありましたので、「どうもありがとう。とてもうれしかったよ。手が汚れるといけないからそこまでいいよ。」と言って帰ってもらいました。お二人の名前も分からず、後になっては顔も思い出せませんが思いやりある優しい行いを本当にうれしく思っております。このことを家人や夕方お会いした近所の方にお話ししましたところ、皆さん感心されていたので、お手紙させていただいた次第です。(※校長としてお礼のお手紙を送らせていただきました。)

子供たちはこの手紙を真剣に聴き、微笑み、自分たちのよさを多くの方々が見てくださっていることを実感していました。きっと自信につながっていくことでしょう。今後も、保護者・地域の皆様と協働して、学校教育を進めてまいります。